

2008年 11月号 No.025

2008年10月30日発行

月刊 かわごえ環境ネット



目次

団体会員訪問(14)「川越 巨樹・古木の会」	2
かわごえ環境ネットの活動報告(4題)	3-5
近隣市の環境活動についての報告「鶴ヶ島市」	6
川越市からのおしらせ(5題)	6-7
理事会・専門委員会からの報告(4題)	8-9
これから開催されるイベントのおしらせ等	10-14

歩いてまちの健康診断「川越アメニティマップ」



大正浪漫夢通りを調査する参加者

10月12日に、東洋大学とNPO 法人日本アメニティ研究所(JARC)の共催で「川越アメニティマップ」ワークショップを開催しました。このイベントには、地元住民として横山副理事長が所属する生活クラブ生協埼玉川越支部の4名の方々にも参加していただきました。



意見がびっしりと書き込まれた「フラグマップ」
ことが求められるとされています。

アメニティ(amenity)とは、人間がとらえる総合的な環境の質を表す概念で、都市や農村などの環境においては、Physical(機能性)・Visual(視覚性)・Ecological(環境性)・Social(地域性)・Mental(精神性)の5つの条件を満たす

今回の調査では、中心市街地の中央にあたる連雀町を中心とする範囲で、16名の参加者が4つのグループに分かれてまちを歩き、アメニティの場所とその反対のディスアメニティの場所を記録しました。それを部屋に戻ってからふせんに書き込んで、串の旗で作ったものが「フラグマップ」です。写真の通り、とても狭い範囲にびっしりと立った旗は、川越のまちにさまざまな魅力や課題があることを示しています。この結果は、まちの健康診断結果として、まちの魅力を高めるための有用な資料となることでしょう。

さて、川越アメニティマップの作成体験を、11月9日(日)に開催される「2008 アースデイ・イン・川越 立門前」でも実施します。歩くことで川越の魅力を再発見することでしょう。ぜひご参加ください。

かわごえ環境ネット理事長 小瀬博之

川越 巨樹・古木の会

団体会員訪問 地域環境活動を聴く (14)

今回の団体会員訪問は、自宅訪問になりました。環境ネット編集部員として、団体会員を訪問続けて14回目となりました。会員名がめずらしい会員から訪問させて頂いておりましたが、「川越 巨樹・古木の会」も環境活動、何をしているの・・・の聲が届き、自己取材としました。

会の自己紹介から始めますと、会の設立は1999(平成11)年6月。かわごえ環境ネットが設立された時からの会員です。会員は、現在52名で四季折々に、年4回の巨樹探訪会を開催しています。探訪が終わった後に、探訪時には語れなかった巨樹にかかわる歴史と、樹の生い立ちに関する調べ事、そして巨樹を取り巻く景観、環境を書き表し会報とし発刊しています。参加できなかった会員には情報提供となり、一人探訪または友を誘っての探訪を行う会員もいます。最初は一枚の会報でしたが、会を重ねるごとに枚数も増え、時には7ページにもなります。写真を入れた会報も回が進むにつれ欲が出て、見やすく感じの出るカラー印刷での会報となって、34号を数えるに至りました。ささやかに10人で発足した趣味の会。



カラー写真で印刷された会報 年4回の発行

生まれ育った川越には大きな樹が街中にあることは、子どもの頃から見てきましたが、見てはいるけどよく知らないことが多くあることに気づき、川越の巨樹訪ねを重ね始めた。巨樹の近くに住む方との出会いもあり、言い伝えを知らされて文献調べに図書館通いが加わりました。大きく長く生きた樹の地域と歴史記録に興味を深まり、会員との四方山話に興じていました。全国にある巨樹との出会いを求めて、南は屋久島の縄文杉、北は北海道札幌市の北海道大学ポプラ並木などの巨樹100本の探訪も行いました。地方の巨樹を訪ねると巨樹の歴史

と併せて推定樹齢が書かれた案内板が表示されています。また、巨樹の腐れを保護する手入れも行われており、観光資源としての役割も果たしています。環境省が長く生きた巨樹の育成状況、生存調査を10年ごとに実施しています。「全国巨樹・巨木林の会」も設立され、巨樹に関する環境を始め様々な情報を発信して、年々幹周りが太くなる巨樹を統一した方法で計測、幹周り順位も発表しています。これに伴い巨樹計測の講習会も開催し、巨樹計測員の認定も行っています。「川越 巨樹・古木の会」会員の一部で構成された「ボランティア川越巨樹古木の会」も平成14年6月に発足。樹木の育成支援を行っています。「300年の巨樹も3年の苗木から」の思いから「川越市が市民に呼びかけた「緑のパートナー」制度に参加、苗木を鉢で預かり3年の育成、その後大地に植樹する樹木の里親制度。この植樹を支援するボランティアを行っています。育成中の添え木と追肥・剪定。尚美学園大学に植えたエゴノキ、川越運動公園に植えたハナミズキは、年々大きく育ち花を咲かせています。植樹場所が困難になり「緑のパートナー」制度の運用は休んでいます。川越市が緑を広める運動に、5月に行われる伊佐沼の「川越れんげまつり」と10月に行われる「安比奈親水公園まつり」で苗木配布があります。毎回1,000本の苗木が配布され市民の植樹参加になっています。今年までの累計は66,000本と発表されました。この事業に苗木の手渡しと植樹アドバイスの支援として毎回参加しています。今年の10月に「川越緑のサポーター」が、埼玉県の「みどりの埼玉づくり県民提案」に応募し選定された事業、「コナラの幼木苗木300本植樹キャンペーン」に参加、福原の平地林でドングリから芽生えた幼木を採取、落ち葉堆肥の養分が沢山含まれた鉢に移植、畑に植樹するボランティアに20名の会員が参加しました。陽光を十分に浴びる畑で3年の育成、平地林に植え若返りを推進します。CO₂削減目標を決めた京都議定書の削減目標6%のうち、3.9%が手入れされた山林、または新たに植樹された平地林の創生で達成される内訳になっています。些少ですがCO₂削減への活動にもなっています。仲間と巨樹を訪ね、環境を考え、行動を楽しむ団体として、巨樹の成長とともに長く続けて行きます。

(2008年10月訪問・広報委員：金子晃)

かわごえ環境ネットの活動報告

「川越まつり」まち美化活動で成果

社会環境部会



とても目立つ赤い法被を着て街角でゴミ集め



ごった返す一番街。道案内もたくさんしました。

10月18・19日の両日にわたって開かれた「川越まつり」は晴天に恵まれ、来年4月から放映される川越を舞台にしたNHKの連続テレビ小説「つばさ」の前景気もあって、昨年を上回る人出となりました。

本会のまち美化グループでは、両日とも午前11時から午後9時まで、2時間刻みでゴミ拾いの参加者を募集、ネット会員の口コミで多数の参加を得て成果を上げました。昼間に予定されたJTの「拾えば街が好きになる」運動は中止になりました。川越駅から札の辻までの広い地域を「小江戸川越ボランティア」の赤い法被を着てゴミ拾いの巡回をしました。午後4時以降は人出が多くて下を向いてのゴミ拾いはできず、四つ角に大袋を持って「ポイ捨てしないでこの袋へどうぞ」と言いながら立ちました。30分もすると大袋がいっぱいになるありさまでした。

2日間で、市から貸与された小江戸ボランティアの赤い法被を着て活動した人は、延べ100人を超えました。午後5時過ぎの市のボランティア公募に応募した人も、何人かは赤い法被を

着て私らの活動に協力してくれました。

今回は、ボランティア本部が昨年の鏡山酒造跡地と違って道路から分かりにくく、参加者が少なかったのが残念でした。しかし、昨年と同じようにスターバックス コーヒーの社員グループ、朝日新聞販売店グループ、ジブラルタル生命保険のグループなどのチームでの参加がみられました。また、六軒町青年団が、山車を出さない代わりにリヤカーに飾りをつけてゴミ拾いをしているのが目立ちました。市民参加の輪が広がっているのが実感されました。

昨年参加した人で今年も来た人は少なかったようです。押すな押すなの人出の中で機能的に活動するためには、ボランティア本部を4箇所くらいに分けて置く必要があります。きれいな「川越まつり」実現の方策を、昨年、今年と参加した人を中心に話し合う機会を早く持って「市民協働」の成果が上がるような工夫が必要だと痛感しました。

(社会環境部会まち美化担当 武田侃蔵)

「かわごえアジェンダ21」チェックシートをやってみませんか？

2008年1月に策定された川越市環境行動計画「かわごえアジェンダ21」に、環境行動のチェックシートがあります。「市民編」を中心に、本会に関するさまざまなイベントにおいてチェックを実施します。川越市ホームページでも本編、チェックシートがダウンロードできます。川越市ホームページ <http://www.city.kawagoe.saitama.jp/>で「アジェンダ21」と検索してください。

「ストップ温暖化 SAITAMA フェア」に本会が連続して参加

社会環境部会



来訪者で賑わうかわごえ環境ネットのブース

埼玉県環境部主催で、さいたま新都心駅コンコースを会場とし、県下の環境関係の諸団体が展示を競う「ストップ温暖化 SAITAMA フェア」が10月19日に開かれ、本会は連続3回目となる参加をしました。今年も、こどもエコクラブ普及のために「彩の国こどもエコクラブフェスティバル」との副題をつけて子どもらの8団体が参加し、合わせて41団体が思い思いの工夫を

こらした展示で多くの見学者を集めました。親子で楽しめる実験や工作のコーナー、ソッポさんのリサイクルエコマジックショーなど、子どもらが喜びそうな企画をそろえたのが今年の特徴でした。

かわごえ環境ネットは、渡辺社会部会代表の太陽エネルギー活用の実例展示、松岡壽賀子さんの省エネ生活の工夫が展示され、私がサポーターとして参加しました。展示場所は、仮設ステージの近くで、省エネルギー活動関係の団体がまとまっているコーナーでした。

太陽光発電のデータ、行政の補助額などの質問が多く、松岡さんの所は子ども連れの主婦がお互いに体験を話し合ったりして、100人を超える人々が訪れた賑やかなブースでした。実りあるフェアの参加体験でした。(宮澤宏次)

池辺公園の近況報告

自然環境部会

9月に入り、キツネノカミソリの花が咲き終わり、その後に多数のヒガンバナが咲き始めました。その数は、この公園の目玉にしようとしているキツネノカミソリより圧倒的に多く、咲く位置も重なっているのです、これからキツネノ

カミソリを繁殖して行くのに影響するのではないかと心配です。

以下に9月14日(日)の現状を報告します。

(大辻晃夫)



ヤブランの群の中に咲くヒガンバナ



8月に多数の露出した球根を見つけ、キツネノカミソリだと判断して移植したが、ヒガンバナであることがわかった。



【参考】採取したキツネノカミソリの種子



リボンの位置が、キツネノカミソリが咲いていたところで、ヒガンバナの位置と重なっている。

【追記】池辺公園は、安比奈親水公園の下流側対岸に部分開園している公園で、駐車場の整備などを行って正式に開園する予定です。(編者)

「(仮称)川越市森林公園」計画地 キノコの観察会報告

自然環境部会



観察前のレクチャーの様子



左方はケーブルテレビの取材



イタチタケのフェアリーリング；
菌糸が放射状に広がる



ヤグラタケ；クロハツの上に
他種のキノコが発生



イロガワリ：裏側をこすると
緑色に変色する

この前々日には台風 13 号が大雨を降らし開催が心配されましたが、当日は講師の大久保さんが「今日のように湿っぽくて、今にも降り出しそうな日がキノコ観察には最高です。」という日になりました。キノコの観察会は初めてという方も多く、最初にキノコに関する簡単なレクチャーの後、林内に入っていました。

日時：2008年9月21日（日）9:30～12:30

場所：川越南文化会館（ジョイフル）及び「(仮称)川越市森林公園計画地」

参加者：一般・本会会員 計 20 名

講師：埼玉きのこ研究会 大久保彦さん・
(財)埼玉県生態系保護協会 稗島英憲さん

今回観察されたキノコの種類

	ツチカブリ	シロハツ	クロハツ	オキナクサハツ
ベニタケ科	チチタケ	クロチチダマシ	カワリハツ	
テングタケ科	ツルタケ	シロツルタケ	テングツルタケ	フクロツルタケ
キシメジ科	ウラムラサキ	カレバキツネタケ	ムレオオイチョウタケ	ヒメカバイロタケ
	ヤグラタケ	ナラタケモドキ	ツエタケ	
サルノコシカケ科	ツヤウチワタケ	エゴノキタケ	アラゲカワラタケ	ヒイロタケ
	アオゾメタケ			
イグチ科	クロアザアワタケ	イロガワリ	ミドリニガイグチ	ヤマドリタケモドキ

この他にも 10 種ほどあり計 37 種を観察したことになります。キノコ会のデータではこの林には 300 種確認されているそうですが、キノコは種類によっては 1 週間くらいしか顔をださないものもあり、なかなか全容は分からないようです。

また、この林はキノコの個体数が最近、目に見えて減少しています。特に美味と評判のチチ

タケは乱獲の故か、極端に減っています。いずれ残るのは毒キノコだけになりかねません。この雑木林はキノコ狩りをするほどの余裕はなくギリギリの生態系で保たれています。有機物を分解するキノコの仲間は大切な存在です。このようなことを参加者ととともに学んだ観察会でした。

(賀登環)

近隣市の環境活動についての報告

鶴ヶ島市の環境活動報告

人口 7 万人を超えた鶴ヶ島市では、平成 11 年に「美しく住みよい鶴ヶ島市の環境づくりの基本を定める条例」を制定、この基本理念に基づいて、2003（平成 15）年 1 月「鶴ヶ島市環境基本計画」を策定し、年次報告を発表しています。2007（平成 19）年度の報告と 2008（平成 20）年度の取り組み状況をまとめた冊子を 8 月中にまとめました。大所帯の川越市では編集が大変でしょうが、もう少し早く年次報告書をまとめたいものです。

1) <年次報告から>

鶴ヶ島市では、環境と名のつく組織は、市民生活部の生活環境課だけですが、職員の名刺には「深呼吸のしたい街 つるがしま」と誇らしげにメッセージが刷り込まれていました。

鶴ヶ島市の目指すべき環境像に「里山と小川風と緑と生きものと 共に生きるまち」を掲げ、基本目標の第一が「水と緑に育まれた生命みちあふれるまちをつくる」、第二が「地球とすべての生命をまもるまちをつくる」、第三が「安心して暮せるまちをつくる」、第四が「人の交流の豊かなまちをつくる」となり、全庁的に取り組んでいる成果をまとめているのが特徴であります。

最初の緑地率は都市計画課の所管ですが、目標値 27.0%に対し 24.6%と、ここ 4 年、減少している状況にあります。一方、ごみ排出量に関

しては、市民 1 人 1 日あたりの目標が 700g に対し、2001（平成 13）年度が 871g、2007（平成 19）年度で 721g と大幅に前進しています。他に、市内循環バス年間延べ利用者数や、環境ボランティア参加者数などは、既に目標値を大きく上回っています。

2) <廃食油リサイクル>

川越市の 9 月市議会で若狭議員が取り上げた鶴ヶ島市の廃食油をリサイクルして液体石けんを作る取り組みは「鶴の恩返し」の愛称をつけて、各種イベント会場で普及を図っています。市民を交えた組織作りが課題となっています。

3) <環境月間の取組>

6 月は全国的に環境月間として各種催しがあります。鶴ヶ島市では 6 月 3 日から 13 日まで、鶴ヶ島市庁舎ホールなどを利用して「3R の実践・地球温暖化防止の取り組み」をメインテーマに、行政と市民団体、小中学校、事業者を集めて大々的に環境月間啓発展示を行いました。

4) <環境推進大会>

かわごえ環境ネットと交流のあった「つるがしま環境ネットワーク」がいったん解散しましたが、市長の提言による「鶴ヶ島市環境推進大会」を、12 月の地球温暖化防止月間にあわせて、市民団体や企業の参加のもと、12 月 14 日の開催に向け調整中です。

（武田侃蔵）

川越市からのお知らせ

平成 20 年度秋季苗木配布事業を実施しました

環境政策課

2008（平成 20）年 10 月 4 日（土）に、安比奈親水公園で「第 10 回安比奈親水公園まつり」が開催され、その中で秋季苗木無料配布事業を実施しました。

この事業は、市民の緑化意識の向上と緑化の推進を図ることを目的としています。

今回の苗木配布では、市と一緒に川越市自治会連合会によるブルーベリーの苗木の配布も行なわれました。市の木かし、市の花やまぶき他全 6 種類 1,000 株の苗木はすぐになくなりました。市長、副市長からも手渡しで配布しました。



川越市環境部では、環境経営を促進していくことを目的に、2007（平成19）年2月に「エコチャレンジカンパニーの広場」を川越市ホームページ内に立ち上げております。

このたび、この「エコチャレンジカンパニーの広場」の提供コンテンツの一つとして、事業者の皆様の環境にやさしい取組事例を紹介する「環境にやさしい取組紹介」のページを新たに設置しました。市内事業者の皆様が日々取り組んでおられる環境にやさしい取組

を公表し、積極的にPRしていただくとともに、これから取り組む方の参考として活用いただきたいと考えております。

掲載は、1事例につき、紹介文が「ですます調」にて300字以内、画像が1枚以内になります。市内に所在する事業所であれば、業種、事業所の規模、取り組み内容の大小等は問いません。また、一つの事業所より複数の投稿をいただくこともできますので、ふるって情報を投稿ください。

投稿方法等につきましては、川越市ホームページをご覧ください。担当までお問い合わせください。〔担当〕川越市環境政策課 地球温暖化対策担当 Tel.049-224-5866（環境政策課直通）

布類拠点回収について

資源循環推進課

11月2日・9日・16日・23日・30日に、市内の公共施設・自治会館等において、各家庭内

で不要になった再使用・再利用等が可能な布類を持ち込んでもらう布類拠点回収を実施します。

新清掃センター建設事業の近況について

新清掃センター建設事務所

新清掃センター建設事業は現在、熱回収施設の地下構造部分、地上建築物及び煙突の工事を実施しています。

られています。

また、リサイクル処理棟及び啓発施設新築工事につきましては、現場着工の準備などが進め

今後、草木類資源化施設、車庫棟などの施設や外構の工事請負契約手続きを行い、順次、工事を進めていく予定です。

リサイクルストックヤード棟及び調整池の工事契約について 新清掃センター建設事務所

9月2日開会の川越市議会第4回定例会に上程した「仮称川越市新清掃センターリサイクルストックヤード棟新築工事」及び「仮称川越市新清掃センター調整池その他工事」については、次のとおり可決されました。

工期：2010（平成22）年1月15日まで

○仮称川越市新清掃センターリサイクルストックヤード棟新築工事

○仮称川越市新清掃センター調整池その他工事

契約の方法：一般競争入札

契約の方法：一般競争入札

契約の金額：208,950,000円

契約の金額：507,675,000円

契約の相手方：沢建工業株式会社

契約の相手方：初雁・東特定共同企業体

工期：2009（平成21）年11月30日まで

理事会・専門委員会からの報告

理事会

第95回理事会は9月25日に開催されました。審議事項の主旨は次のとおりです。

- ・古谷公民館から環境講座を開催するにあたり、講師派遣の依頼があり審議し、講師として、第1回に小瀬理事長、第2回に横山副理事長、第3回に大久保彦会員、第4回に大辻理事が講師を勤めることが提案され承認されました。
- ・飯島希会員から提案のあった未就学児を対象とした「幼児向け環境教育事業」について審議しました。環境学習支援について、本会では「環境学習支援委員会」が置かれていますが、2006年度から活動を休止しています。具体的内容について、横山副理事長が飯島会員と面談し、企

画意図と内容について確認してから、実施体制を検討することにしました。

報告事項

- ・11月11日に氷川会館にて開催される、川越市主催の「協働フォーラム」におけるパネルディスカッションのパネリストとして、横山副理事長に出席依頼があり、本会副理事長として出席する予定と報告されました。
- ・鴻巣市文化センターにて、「個人情報保護法に関する説明会が11月4日(火)に開催される案内が埼玉県・県政情報センターから届いたとの案内が事務局よりされました。(理事：金子晃)

社会環境部会

2008年度7回目の社会環境部会の例会が、10月8日、市役所7G会議室で開かれ、13名が参加して情報交換をしました。

- 1) 9月25日の理事会と、かわごえアジェンダ21推進委員会、2009年2月21日(土)にクラッセ川越で開かれる第7回かわごえ環境フォーラムの準備委員会などの報告が渡辺代表からされました。
- 2) 1. 地球温暖化対策グループでは、10月19日にさいたま市で開かれる「ストップ温暖化 S AITAMA フェア」に、かわごえ環境ネット代表として渡辺代表と松岡さんが参加します。2. 平成20年度「ストップ温暖化“冷やせ! 彩の国”コンクール」に、川越市環境行動計画「かわごえアジェンダ21」作成活動についてかわごえ環境ネットとしてエントリーし、10月25日に、大宮ソニックシティで発表いたします。3. 市内の公民館窓口に置いた夏のエコライフ DAY のチェックシート集計結果が報告されました。追加を含め208人、3割強の回収率でした。

3) 環境保全および改善のグループ代表の原嶋昇治さんから、市の資源循環推進課と再度話し合い、生ごみリサイクルを進めるモデル対策などで意見交換をしました。

4) まち美化グループの代表の武田侃蔵さんから、10月18・19日の川越祭りのまち美化対策について、JTが不参加になった経過が報告され、かわごえ環境ネットまち美化グループとして、昼夜「協働」の一環として活動することを説明し、会員の参加協力をお願いしました。

5) 11月9日の「2008アースデイ・イン・川越立門前」、11月15日の「第8回北公民館かんきょう祭り」について、「かわごえアジェンダ21」の啓発を念頭に、チェックシートの記入を来場者をお願いすることにしました。

6) 11月11日、パイオニアで開かれる「環境コミュニケーション」に浅見弘さん、大久保希さん、細渕富美子さんが参加します。

(社会環境部会代表 渡辺利衛)

自然環境部会

9月14日(日)に、仙波河岸史跡公園と小仙波の龍池弁財天において第5回・自然環境パトロールを総勢4名の参加で行いました。今回、龍池弁財天の裸地化した斜面の土壌が雨の影響で流れ出して、近在の方からの苦情がでていることがわかりました。

9月17日(水)に、池辺公園にてヒガンバナの分布調査とキツネノカミソリの種子採取を総勢4名の参加で行いました。また、9月26(金)には、川越市で用意してくれたプランターと培養土を用いて、種蒔きを行いました。詳しくは、記事をご覧ください。

9月21日(日)に、(仮称)川越市森林公園計画地においてキノコの観察会が開催されました。詳しくは、記事をご覧ください。

10月6日(月)に、さわやか活動館にて水辺の自然の保全と再生グループの定例会が総勢7名の参加で開催され、湧水探訪会の実行計画と龍池弁財天の自然環境悪化への対応策などについて話し合いました。

10月10日(金)に、川越市役所7G会議室にて10月度・自然環境部定例会が総勢9名の参加で開催されました。

第7回かわごえ環境フォーラム実行委員会

第3回実行委員会が10月10日(金)13:30から川越市役所地下階修養室で行われました。

環境活動報告集への投稿・発表者募集要項を決定しました。2008年11月28日が投稿・発表申込期限、2008年12月19日がレポート投稿期限となります。ポスター・実物展示については、前日夜に行う準備時間に可能であることを明記することにしました。詳しくは、本誌の募集概要もしくはかわごえ環境ネットホームページの募集要項をご覧ください。

2月21日のおおよそのスケジュールを決定しました。環境活動報告会は、登壇発表を10件で質疑を含めて発表時間を12分程度とし、展示会

「残された平地林の保全グループ」からは、(仮称)川越森林公園計画地で開催されたキノコの観察会と10月29日に予定している東大秩父演習林見学会の詳細スケジュールについての報告がありました。

「水辺の自然の保全と再生グループ」からは、アースデイにおける展示をパネルによる活動報告に絞ることと、11月17日(月)に計画していた伝説の地と神社、史跡に湧く湧水探訪会を予定通り実施することが報告されました。また、川越市による池辺公園の除草刈りなどの整備日程が10月27日(月)に決まり、立会い要請があったことが報告され、5名の参加が確認されました。さらに、10月12日(日)に予定されている仙波河岸史跡公園の自然環境パトロールと植物調査について日程変更の要請が出され、植物調査のみを10月15日(水)に延期することに決まりました。

最後に、アースデイ実行委員からの進捗報告と、事務局からは環境コミュニケーションへの参加案内と、さいたま環境賞への応募案内がありました。(自然環境部会代表：大辻晃夫)

を並行して昼休みまで開催すること、また、本会の活動報告を1時間程度、講師を招いての講演会を1.5時間から2時間程度開催することにしました。

講演会の講師候補を検討し、交渉にあたる順位を決めました。次回委員会(11月28日)までに順番に交渉し、講師を決定します。

後援の依頼状の内容を決定しました。担当者を決め、11月のアースデイごろから順次依頼することにしました。新たな企業にも数社協賛をお願いすることにしました。(小瀬博之)

これから開催されるイベントのおしらせ等

かわごえ環境ネット主催・出展行事（記号の凡例はイベントカレンダーをご参照ください）

★ [出展] 2008 アースデイ・イン・川越 立門前

日時：11月9日（日）10:00-15:00
場所：蓮馨寺・旧鶴川座・旧川越織物市場・
熊野神社・立門前通り・大正浪漫夢通り

★（仮称）川越市森林公園計画地 樹木調査

日時：11月11日（火）9:30-12:30
集合場所：川越南文化会館（ジョイフル）
（川越市今福 1295-2）

持ち物：筆記具

問い合わせ：賀登（049-234-9366）

調査と折々の自然観察をしています。毎月第2火曜日定例、事前連絡はいりません。

★ [講演] 協働フォーラム ～みんなでつくる

いきいき川越～

日時：11月11日（火）18:00-20:00
（受付 17:30-、ミニコンサート 17:45-）

場所：氷川会館（川越市宮下町 2-11）

入場無料、定員：先着 200名

● 社会環境部会（2008年11月度）

日時：11月12日（水）15:00-17:00

場所：川越市役所本庁舎 7G 会議室

（川越市元町 1-3-1）

毎月第2水曜日に開催。次々回は12月10日。

● 自然環境部会（2008年11月度）

日時：11月14日（金）15:00-17:00

場所：川越市役所本庁舎 7G 会議室

毎月第2金曜日に開催。次々回は12月12日。

★ [協賛・出展] 第8回北公民館かんきょう祭り

日時：11月15日（土）9:00-16:00

場所：川越市北公民館（川越市氷川町 107）

◆ 広報委員会（2008年11月度）

日時：11月17日（月）12:30-13:30

場所：川越市役所 5階 フリースペース

◆ 理事会（第97回）

日時：11月28日（金）13:30-15:00

場所：川越市役所本庁舎 7B 会議室

◆ かわごえ環境フォーラム実行委員会（第4回）

日時：11月28日（金）15:00-16:00

場所：川越市役所本庁舎 7B 会議室

◆ かわごえアジェンダ 21 推進委員会（第5回）

日時：11月28日（金）16:00-17:00

場所：川越市役所本庁舎 7B 会議室

第7回かわごえ環境フォーラム「環境活動報告集」投稿募集（11月28日申込期限）

2009年2月21日（土）に、クラッセ川越で「第7回かわごえ環境フォーラム」を開催します。それに先立ち、同日発行する「かわごえ環境活動報告集」の投稿原稿を会員内外から募集します。

この報告集は、市民・事業者・民間団体・行政の活動を多くの人に伝えるとともに、お互いの活動と役割を理解し、情報を共有すること、また現在の活動の記録を将来に記録として残すことを目的とするとともに、フォーラム当日の

発表に対する要旨集を兼ねているものです。

詳しくは、会員に対して今号に同封している要項をご覧ください。また、かわごえ環境フォーラムホームページ（<http://forum.kawagoekankyo.net>）に、原稿フォーマットとともに掲載しています。

投稿・発表申込は11月28日（金）まで、レポート投稿期限は12月19日（金）となっています。みなさまの積極的な投稿をよろしくお願いいたします。

11月9日（日）に蓮馨寺周辺で「2008 アースデイ・イン・川越 立門前」を開催

11月9日（日）に、蓮馨寺、旧鶴川座、熊野神社、旧織物市場の4箇所を拠点会場に、さら

に立門前通りなども利用して、環境と国際交流を考えるとともに、川越市の歴史と文化を支え

た初雁賞受賞者のパネル展示、「かわごえアジェンダ 21」の啓発など、立門前の賑わいを取り戻すアイデアいっぱいの「2008 アースデイ・イン・川越 立門前」となります。クイズやアンケートに協力すると、13のお店で「エコマネー」が使えます。

主会場の蓮馨寺コーナーは、川越市環境部、かわごえ環境ネット、国際交流団体、企業の展示、体験コーナーなどでいっぱいになります。旧鶴川座は、フォルクローレや東京音楽療法学院生の演奏、川越のエンタテナー野津鷹王さんの自慢の芸などとあわせ、ヒッポファミリーのグループの楽しいパフォーマンスが見られます。

熊野神社では、キッズ&健康コーナーとして、やさしい子ども向け木工教室、有機野菜の販売、足踏み健康ロードの先で血圧や体組成測定などができるようになっていきます。

旧織物市場は、クイズラリーの終点のほか、初雁賞受賞者を囲むコーナーのほか、川越だるまや鋸の製作の実演、木組み建築の大型模型展示と、盛り沢山の企画が集まりました。

立門前通りでは、埼玉県の青空再生課のPR車とパネル展示、今までの初雁賞受賞者30人の写真パネル展示、入れ歯リサイクルシステムの啓発コーナー、路上演奏など、10時から15時まで「賑わいの立門前」が見られます。

11月11日（火）協働フォーラムに横山副理事長が出演します

11月11日（火）に川越氷川神社に隣接する氷川会館で開催される「協働フォーラム ～みんなで作る いきいき川越～」の会場も委員として参加した川越市協働指針検討懇話会の終了と協働指針の策定に向けて開催されるこのイベントは、元NHKアナウンサーの堀尾正明氏の講演「ご近所の底力で、川越を元気なまちに！」

の講演の後に、「協働によるまちづくりの実現をめざして」というテーマのパネルディスカッションを行います。

本会からは、協働指針検討懇話会の委員を務めた横山三枝子副理事長がパネリストとして出演します。入場無料で事前申込は必要ありません。ぜひご参加ください。

11月15日（土）に「第8回北公民館かんきょう祭り」を開催

8回目を迎えた「北公民館かんきょう祭り」は、「私たちが始めよう環境行動」のテーマで、体験発表を広く市民に呼びかけましたが、主眼は高校生などの若い世代の参加であります。10年、20年先の地球環境を考え、今とるべき「環境行動」は何か、市内の公私立14高校に「川越アジェンダ 21」の冊子を5部ずつ配布して高校生の参加をお願いしました。

来館者の投票で入選を決める環境標語や川

柳・都都逸の掲示、環境団体の活動展示、ネクタイのリサイクル、有機野菜の販売やバザールなどとともに、大正琴や合唱、太極拳などの演技があります。さらに「もったいない音頭」を野菊の会、「不老川応援歌」を福原中学校の吹奏と地元合唱団との共演で披露するなど、参加の輪が広まりました。帰りには桜草を進呈する充実の9時から16時までとなります。

会員・関係団体の主催行事

●特定非営利活動法人

武蔵丘陵森林公園の自然を考える会

問い合わせ：谷津弘子（Tel.049-224-9118）

☞森林公園自然観察会

◆11月20日（木）

11月は、色づきはじめた紅葉の中でカエデ類やアオハダそしてドングリなどの木の

実を観察します。沼ではカモ類を探しましょう。ぜひおでかけください。

10:20 国営武蔵丘陵森林公園南口に集合、15:00 過ぎ終了解散。参加費 200 円、入園料は必要。お弁当持参のこと。

◆ 12 月 24 日 (水)

12 月は、今年最後の観察会です。暖かい服装でお出かけください。冬越しに訪れたカモ類や冬鳥を探しましょう。また、野鳥の大好きな赤や紫、黒く熟した実も観察します。

● クリーン&ハートフル川越

問い合わせ：武田侃蔵 (Tel.090-2521-5770)

☞「やめましょう！歩きタバコ・ポイ捨て・放置自転車」のゼッケンをつけて、まち美化啓発運動

1. 第 1 火曜日・第 2 木曜日・第 4 土曜日の 13:30-15:00

◆ 11 月 4 日 (火)・13 日 (木)・22 日 (土)

◆ 12 月 2 日 (火)・11 日 (木)・27 日 (土)

場所：川越駅東口アトレ横歩道橋下集合。

市役所等まで、数方向に分れてまち美化活動を実施し、分別して市役所のごみ置き場にまとめます。約 2 時間の予定です。

2. 第 3 日曜日・9:30-11:00

◆ 11 月 16 日 (日)・12 月 21 日 (日)

場所：本川越駅交番横集合。数方向に分かれて中央公民館まで 2 時間の活動予定。

● 福原ファームクラブ

問い合わせ：横山三枝子 (Tel.049-246-9319)

☞おいしく・楽しく農業体験

◆ 11 月 8 日 (土) 9:30-12:30

秋のお楽しみ 芋煮会

◆ 12 月 13 日 (土) 9:30-12:30

雑木林の手入れ

集合：明見院 (川越市今福 677)

参加費：100 円

● 東洋大学川越キャンパス

☞工業技術研究所講演会「新設する総合情報学部の教育 - 高度 ICT 人材の育成を目指して-」「自動車開発における CAD/CAE/CAPE の適用」

◆ 11 月 20 日 (木) 14:00-17:10

参加無料、問い合わせ：東洋大学工業技術研究所 (Tel.049-239-1322)

詳しくは、工業技術研究所ホームページ <http://www.eng.toyo.ac.jp/~kougiken/> をご覧ください。

☞市民大学講座「脱温暖化社会への処方シナリオ」自然共生で創る暮らしとビジネス

◆ 11 月 22 日 (土) から 12 月 20 日 (土) までの毎週土曜日 13:00-15:00 (5 回)

受講料無料、定員 200 名 (往復はがきにて 11 月 10 日必着で大学へ申込)

申込方法・内容は、http://www.toyo.ac.jp/manabi/koza/exten_c/c2.html をご覧ください。

問い合わせ：東洋大学教学課 (Tel.049-239-1329)

●(財)埼玉県生態系保護協会 川越・坂戸・鶴ヶ島支部

問い合わせ：笠原啓一 (Tel.049-222-0957)

☞伊佐沼探鳥会

時間：10:00 集合-12:00 (小雨決行)

集合：伊佐沼の西側にある東後楽会館入口近くの蓮見橋

持ち物：筆記用具、あれば双眼鏡

参加費：300 円、高校生以下 100 円 (保険料・資料代として)

◆ 11 月 9 日 (日)

カモが今年も渡って来ました。渡って来たばかりは、雄と雌と同じような羽色をしています。雄と雌の違いを見つけましょう。ツグミ、ジョウビタキなどの小鳥たちも冒険の森で観察できます。晴れの日が多く、寒さもまだで外を歩くのには良い気候です。お待ちしております。

◆ 12 月 14 日 (日)

北の国からの使者、冬鳥が揃いました。

鳴き声に注意して探しましょう。里にワシやタカの仲間が、餌にするカモや小鳥たちを追って飛来します。その時カモや小鳥たちはどんな行動をするでしょうか？

●くぬぎ山地区自然再生協議会

問い合わせ：埼玉県環境部みどり再生推進室
自然再生事業担当 (Tel.048-830-3149, Fax.048-830-4775, E-mail: a3140-07@pref.saitama.lg.jp)

☞くぬぎ山清掃活動・見学ウォーク

◆11月2日(日) 9:00-12:00 (集合 8:40)

集合：山脇学園グラウンド(所沢市下富地内)

費用：無料(参加者は傷害保険に加入、費用は協議会が負担)

*悪天候により延期する場合は、前日の11月1日(土)16時頃に連絡。延期した場合は11月16日(日)に実施。

詳細は、埼玉県ホームページ <http://www.pref.saitama.lg.jp/A09/BW00/kunugiyama/kyougikai/osirase/osirase.html> をご覧ください。

広報委員会からのお知らせ・編集後記

●会員からの活動報告・告知等を随時募集

会員の活動報告を400字程度でぜひお知らせください。写真も掲載可能です。電子データでいただくと助かります。また、本会会員や関連団体等が主催する公開イベント等の情報の掲載等も受け付けています。2008年12月号(No.026, 11月下旬発行予定)の掲載原稿は、**12月14日(金)事務局必着**です。詳しくは、かわごえ環境ネット事務局までお問い合わせください。

●かわごえ環境ネットホームページのご案内

かわごえ環境ネットホームページでは、この広報「月刊かわごえ環境ネット」をカラーで見ることができます。印刷が見にくい、写真をカラーで見たいという方は、ぜひご覧ください。バックナンバーも2000年12月のかわごえ環境ネット会員通信からずっと揃えています。

また、Googleカレンダーを使ったイベントカレンダーは、本会または会員関連のイベントが日付を追って一覧できます。月刊かわごえ環境ネットでは、約1か月分の行事予定しか一覧できませんが、Webでは先の行事も見ることができて便利です。また、表示方法を変えることによって、目的の情報を探しやすいです。ぜひご活用ください。

<http://kawagoekankyo.net/news/>

●編集後記

◆巻頭言で紹介している「川越アメニティマップ」ですが、実は、大学2年生の授業でも行って、インターネットで情報を共有するためにその結果を逐次公開しています。ご覧いただきぜひ意見をお寄せください。

<http://team-6.eng.toyo.ac.jp/kawagoe-amenitymap/>

生活クラブ生協埼玉川越支部の2名の方には、大学生のまちあるき調査にもつきあっていただきました。息子世代の学生と一緒に歩く機会はなかなかないので、人生相談などもされたようでとても面白かったと聞いています。私も、今年は3~4名単位のチームに入ってまちあるきをしましたが、少人数の学生とゆっくり話す機会はそうそうなく、これは、学生と教員、または学生同士のコミュニケーションにはとてもよい機会だな、と思いました。(こせ)

◆この11月号が25号となり、今の月刊スタイルに踏み出して丸2年経ちました。無謀とも思われた船出でしたが、会員の活動の活性化につながるとともに、内外にかわごえ環境ネットの存在を知らせることができました。これからは「かわごえアジェンダ21」を「協働」のモデルとして活用したいものです。この広報誌の今後の充実のために編集スタッフの強化が課題であります。会員の応援をお願いします。(KT)

イベントカレンダー (10月29日～12月6日)

日	月	火	水	木	金	土
凡例 ★：会員内外を対象にした公開イベント ●：会員全員が対象の部会・イベント ◆：理事・委員等が対象の理事会・委員会 ◎：会員主催のイベント等 □：本会会員が講師を務めるイベント ○：その他 詳細は個別の記事を参照ください。			29 ★8:00 東京大学秩父演習林見学会 ◎19:00 アースデイ実行委員会	30	31	11/1 □9:30 古谷公民館環境学習講座 ◎10:00 坂戸市環境展(2日まで) ◎14:00 環境リスクを考える川越フォーラム
2 ◎8:40 くぬぎ山清掃活動・見学ウォーク ★9:00 里山保全と湖の水質調査の一日(雨天中止)	3	4 ◎13:30 まち美化啓発運動 ◎19:00 アースデイ実行委員会	5	6	7	8 ◎9:30 おいしく・楽しく農業体験
9 ◎10:00 伊佐沼探鳥会 ◎10:00-15:00 2008 アースデイ・イン・川越 立門前	10	11 ★9:30 川越市森林公園計画地樹木調査 ◎18:00 協働フォーラム	12 ●15:00 社会環境部会	13 ◎13:30 まち美化啓発運動	14 ●15:00 自然環境部会 ○月刊かわごえ環境ネット12月号原稿必着	15 ◎9:00-16:00 北公民館かんきょう祭り □9:30 古谷公民館環境学習講座
16 ◎9:30 まち美化啓発運動	17 ●9:00 湧水探訪会 ◆12:30 広報委員会	18	19 □13:30 高齢者教養セミナー環境講座(南公民館)	20 ◎10:20 武蔵丘陵森林公園自然観察会 ◎14:00 東洋大学工業技術研究所講演会	21	22 ◎13:30 まち美化啓発運動 ◎13:00 東洋大学市民大学講座
23	24	25	26	27	28 ◆13:30 理事会 ◆15:00 フォーラム実行委員会 ◆16:00 アジェンダ21推進委員会 ○かわごえ環境フォーラム投稿・発表申込期限	29 □9:30 古谷公民館環境学習講座 ◎13:00 東洋大学市民大学講座
30	12/1	2 ◎13:30 まち美化啓発運動	3	4	5	6 ◎13:00 東洋大学市民大学講座

月刊 かわごえ環境ネット 2008年11月 No.025

発行日 2008年10月30日 編集・発行 かわごえ環境ネット 広報委員会

事務局 〒350-8601 埼玉県川越市元町 1-3-1 川越市環境部環境政策課

Tel. 049-224-5866 (直通) Fax. 049-225-9800 E-mail: kankyoseisaku@city.kawagoe.saitama.jp

かわごえ環境ネットホームページ <http://kawagoekankyo.net/>